

研修医評価表（消化器外科）

A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：全く不十分 NA：評価できない

評 価 項 目	研修医					指導医				
	A	B	C	D	NA	A	B	C	D	NA
消化器外科疾患患者の胸・腹部診察、直腸診などを行う。										
消化器外科疾患の病状・病期・進行度を正確に診断し治療計画を立てる。										
麻酔・術後管理に必要な患者状態の術前評価を行うことができる。										
輸液・輸血・経腸栄養などの適切な術後管理をおこなうことができる。										
術後管理として必要な検査を行い評価することができる。										
清潔・不潔の区別を行うことができ、適切なガウンテクニックを行うことができる。										
手術で使用する外科器具の名称を理解し、扱い方を経験する。										
基本的手技（局所麻酔、切開・排膿、縫合処置、胸腔・腹腔穿刺）を見学・経験する。										
抜糸・抜釘・創傷処置などを経験する。										
各種ドレーンを挿入・管理を経験する。										
胃管・イレウス管の挿入・管理を経験する。										
腹部外科解剖を理解する。										
院内の感染対策・医療安全の方針に従い、消化器外科診療を行うことができる。										